

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

活動隊員：小原真理子・芹口順子・高田昭彦

2024年1月14日（月）

<1月13日>

- 21:10 武蔵境駅出発
- 21:50 所沢インターより関越自動車道へ
- 22:10 トイレ休憩（上里SA）
- 23:45 トイレ休憩（谷川岳PA）

<1月14日>

- 0:05 新潟へ
- 1:35 北陸自動車道
- 2:30 トイレ休憩1
- 3:10 トイレ休憩
- 4:38 トイレ休憩
- 5:30 小杉インターより一般道へ 途中、コンビニにてトイレ休憩、食料調達
- 7:00 富山県氷見インターより能越自動車道へ
- 7:20 石川県へ 以後、佐々木先生に適宜、走行状況をスマホにて報告
- 7:30 七尾着 国道249号線 七尾田鶴浜地区の液状化にて迂回
- 8:00 七尾国道249号線に合流数分後、迂回路へ
- 8:36 穴水町国道249号線へ
- 8:45 国道249線沿い7件横1列住宅トリアージ赤表示 土砂崩れ1ヶ所 道路損壊多数
- 8:50 穴水駅 トイレ休憩（国土交通省仮設トイレ設置）
道路補修の前に行う道路の雪掻き
- 9:35 国道249号線より珠洲市道路と能登空港へ繋がる道を走行（県道26号線）
途中落石あり
- 10:30 寺分バス停にて休憩 運転交代
- 11:30 珠洲市中心部到着
- 11:50 珠洲市物資管理拠点(珠洲市健民体育館) 到着**
陸上自衛隊 中江氏へ行動確認 14時発陸常自衛隊に同行予定 持参荷物の整理
昼食
- 14:05 陸上自衛隊専用車で出発 自衛隊員4人同行(金沢駐屯地)
道路土砂災害にて迂回、家々の全壊目立つ、建物診断赤 14:55 珠洲市大谷地区へ
大谷小中学校避難所へ到着 本部機能役場担当者(3名)、千葉県庁支援者(4名)
へ挨拶
申し送り開始 看護用ホワイトボード利用状況及び詳細オリエンテーション実施

要支援者・個室希望・ペット同伴避難者等個別対応者について
支援物資、校内配置、トイレ使用及びご身分別について 食堂スタッフへ挨拶及び
食事について カルテ使用し個別に情報引継ぎ

16:30 活動開始

トイレ誘導、市販風邪薬の投与 2 名 創洗浄処置 1 名

17:00 避難所で準備された夕食を交代で摂取

18:25 小原・芹口・高田スタッフミーティング 本日避難者数 156 名 不明者数名

- ・ 1/15 DMAT 医師巡回診療予定（時間詳細未定）
 - 受診者及びフロアーの事前位置確認
- ・ 本日申し送り時、救急搬送した患者情報の共有
 - 入院必要性なく一旦戻った場合の対応の確認（どこのスペースに戻すか・・・）
- ・ 避難所マップの作製について
- ・ 活動の記録 → 毎日実施予定
- ・ ドラッグストア協会からヒヤリング協力依頼
 - リストアップされた市販薬の使用状況を知りたいも再訪問未確定
 - アイマスク等設置要望伝える
- ・ オムツ交換時等の物品取り出し
 - その都度担当者の呼び出しではなく、効率的な管理方法について会議にて提案していく方向
 - コンタクトリスト珠洲市生活サポート部会ロジ担当者連絡先変更
- ・ カルテフォーマット → USB へ保管

18:55 本部との合同ミーティング

<出席者> 大谷地区住民運営担当者 3 名・千葉県支援職員 4 名
災害看護学会 3 名（小原・芹口・高田）

- ① 千葉県職員支援チーム及び看護チーム本日より交代
- ② 本日救急搬送した患者について
 - 本日は自衛隊搬送がある場合は、戻る予定
 - 今後は、市の担当職員が病院へ出向き、対応困難や夜間にかかった場合、市役所交流センター（避難所）へ 1 泊して翌日戻る
 - 段ボールベッド依頼済も納品日程未定
- ③ ユニクロより下着 10 万着寄贈確認 → 当地区への分配不明
- ④ 本日の当地区近隣巡回も警察巡回不明
- ⑤ 明日 DMAT 午前中と連絡ありも時間未定 → 保健室使用・ストーブ設置
- ⑥ 避難所マップの共同での作製協力依頼 → 今後も必要性あり
- ⑦ 血圧上昇・有熱者が増加傾向、夜間のせき込みも増加傾向
- ⑧ トイレ誘導者男女各 1 名、その他も要支援いるが家族が担っている

- ⑨ 消耗品の取り出し方法の検討、住民が必要に応じて、主体的に取りやすい場所に配置する報告に同意を得る。
- ⑩ 要配慮者のカルテ作成 → ファイルとデータに保管
- ⑪ 明日 1/15 生徒始業式 → 避難所運営現状継続
- ⑫ 地区により消防のみか、消防と警察か配置が違う（消防）
- ⑬ 40L ガソリンの設置場所変更
- ⑭ 軽油使用 → 重機燃料
- ⑮ ガソリンと灯油備蓄不足による要望提出済
- ⑯ 食品以外は中止 → 今後、必要物品を随時依頼
- ⑰ 二次避難所意向確認本日実施 → 市の方針は、集団避難へ

課題

避難所における課題として下記をアセスメントした。

- ① 感染症の症状として発熱、せき、下痢等の症状を早期発見し対応することが重要である。
- ② 停電中であり、点灯の危険性に注意を払う必要あり、特に夜間はカンテラや自身のライトで歩行している。
- ③ 高齢者の中で足元が不安定な住人がいる、家族の介助で歩行している。一人の場合もあり、見守りが必要である。
- ④ 避難所本部 3 役との連携・協働により、避難所の課題、個人別の課題に対応する。
朝 8:30、夜 18:30 頃、2 回の合同会議が重要である。看護チームは適宜、合同会議は朝も参加することにした。